

# 産学連携・知的財産本部から

## 特許検索ツールを利用した 簡単な出願動向調査について

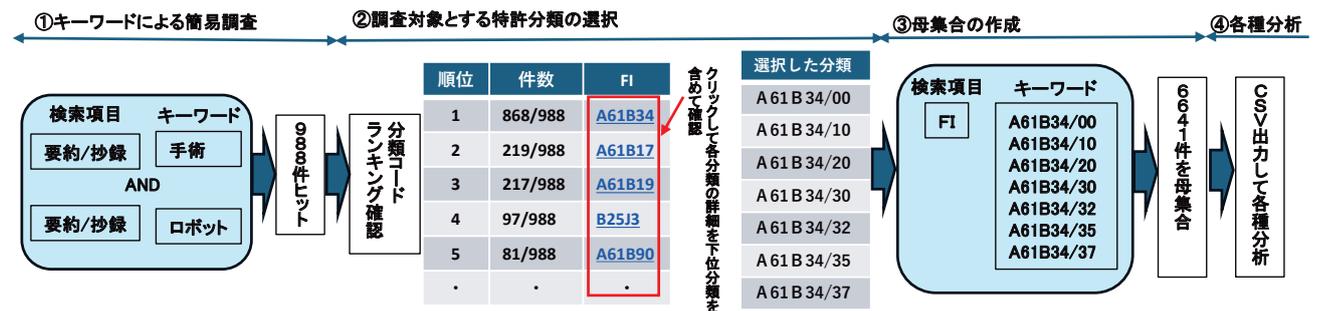
知的財産アドバイザー

西ヶ野 政宏

無料の特許検索データベース（J-PlatPat：<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100>）を使って、簡単に特許の出願動向調査ができますので、ご紹介したいと思います。

今回は対象技術として、産業医科大学病院にもすでに導入され、世界的に市場規模が大きく拡大している「手術支援ロボット」に着目したいと思います。

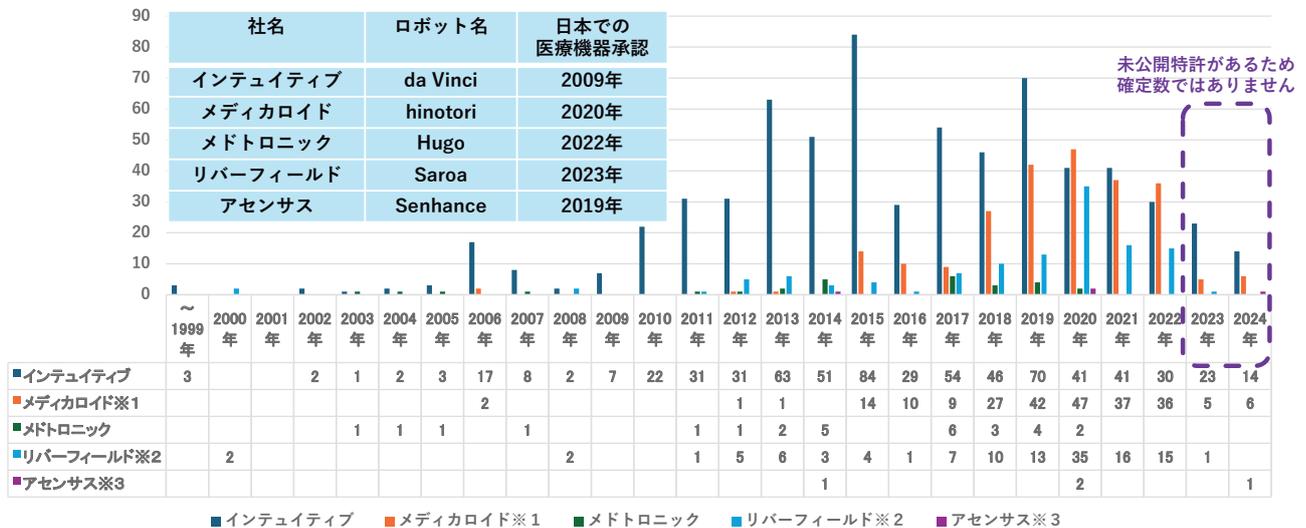
★調査の手順としては、以下のようになります。



★分析例

①日本で医療機器承認を受けたいいくつかの手術支援ロボットの開発機関による出願動向

出願人別出願数推移



※1：シスメックス 川崎重工の出願も含む ※2：東京工業大学の出願も含む ※3：トランスエンテリックスの出願も含む

②上記5社における他社との共同出願

- ・インテュイティブは、シーメンスとの共同出願が4件あるのみで、他は単独出願
- ・メディカロイドは、hinotoriの開発機関である川崎重工業(株)とシスメックス(株)を除いては、(株)ニコン、(株)トップ、ザイオソフト(株)とそれぞれ1件、神戸大学と2件の共同出願
- ・リバーフィールドは、日本発條(株)、ヤマウチ(株)、東工大、東京医科歯科大とそれぞれ1件の共同出願

★その他

昨年夏のテレビドラマ「ブラックペアン2」で、手術支援ロボットとAIを組み合わせた「エルカノ・ダーウィン」が登場しました。そこで、上記特許調査で収集した母集合の中に、AIとの組み合わせに関する発明がないか調べたところ、「特開2024-74910」等が見受けられました。

特許調査に関するご相談がございましたら、お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

問合せ先：研究支援課（8010）